

WOD (World Osteoporosis Day) について

日本骨粗鬆症学会

理事長 中村 利孝

今年もまた、国際骨粗鬆症デー (WOD: World Osteoporosis Day) がやってきました。

世界 87カ国 173 団体の参加により運営されている国際骨粗鬆症財団 (International Osteoporosis Foundation IOF) は世界保健機関 (World Health Organization WHO) と共同で、「世界から骨粗鬆症による骨折をなくすこと」を目的に、広範な活動を展開しています。

その一環として、IOF では毎年 10 月 20 日を世界骨粗鬆症デーとし、その前後を含めて世界の各地で様々な行事を行ってきました。今年は、10 月 15 日にはロンドン、16 日にはベルギーのブリュッセル、21 日にはアラブ首長国連邦のドバイで、それぞれ、メディアインタビューを行い、「骨粗鬆症の危険因子」と IOF による「骨粗鬆症危険性についての 1 分間テスト」の普及に関する広報活動が企画されています。

わが国でも、毎年 WOD にあわせて骨粗鬆症治療を普及・啓蒙する目的でポスターを作製し、IOF 本部、国内の主な施設に配布しています。今年も、このポスターによって、骨粗鬆症の重要性が広く世の中で再確認される機会になればと存じます。